



外科年報

2021



川崎幸病院



外科年報

2021





川崎幸病院 副院長
診療部長
外科主任部長
後藤 学

日頃、川崎幸病院を御支援頂きありがとうございます。

2020年はコロナ感染症に終始した1年でした。当科でも患者の受診控えや予定手術の延期により手術実績に影響がりましたが、地域医療に影響が出ないよう悪性腫瘍手術、緊急手術だけは断らないよう努めておりました。今年も病院全体として新型コロナウイルス感染症対策にも油断することなく、当院が本来地域に果たすべきがん治療や救急医療を変わらず提供して参る所存です。

2020年は呼吸器外科に長山医師を新たに迎え総勢16名となり外科系領域をほぼすべて診療できるようになりました。

今まで右肩上がりだった手術実績は、川崎幸病院での入院手術、第二川崎幸クリニックでの外来手術を合わせて、1,116件と昨年から80件ほど減っておりコロナ感染症の影響と考えます。

川崎幸病院での入院診療はもちろん第二川崎幸クリニックにおいても外科、食道外科、肝胆膵外科、呼吸器外科、乳腺外科、減量外科外来、化学療法外来を展開して参ります。今まで同様皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしく願い申し上げます。



川崎幸病院
外科部長代行
消化管外科部長
成田 和広

平素は川崎幸病院外科にご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。ワクチン接種が開始されましたが新型コロナウイルスの変異株が猛威を振るう状況で難局に立ち向かわれていることと存じます。

当院は救急および外科系の専門診療を中心に当院の役目として必要とされる医療の提供をし続けております。当科はコロナ禍で手術件数は1,116件と減少しましたが、院内発生を起こさせない感染対策の下、手術を行っております。

今年度より、副院長でもありコロナ禍で多忙の後藤外科主任部長の下で当科の実務的なことは部長代行である自分が継続して行い、食道外科、消化管外科、肝胆膵外科、呼吸器外科、乳腺外科を5本柱とした新体制となりました。それぞれに責任者を設けることにより減量外科を含めた当科の得意とする内視鏡外科はもとより、各専門医によるより専門性を高めた医療を提供できる体制となっております。また今年度は乳腺外科に閔医師、専攻医として原田医師(当院で初期研修)が加わっており、より体制を強化しております。

今後も安全で最適な医療を提供でき、地域の医療機関の皆様の信頼を得て、貢献ができるように努めて参りますので、本年もよろしく願いいたします。

— 消化器病センター 外科 診療基本方針 —

1. 消化器腫瘍・悪性腫瘍疾患に対する高度専門医療の提供
2. 消化器の急性期疾患に対する24時間の対応

外科診療の5本柱

食道外科

消化管外科

肝胆膵外科

呼吸器外科

乳腺外科

下記の疾患についてご紹介ください

診療対象疾患

悪性腫瘍等

食道がん、胃がん、大腸がん、肝臓がん、膵臓がん、胆のうがん、乳がん、肺がん など

良性疾患

消化管良性腫瘍、痔疾患、胆嚢結石、鼠経ヘルニア、腹壁ヘルニア、高度肥満、気胸、肺嚢胞、縦隔腫瘍 など

急性疾患

急性腹症、胃十二指腸潰瘍穿孔、大腸穿孔、腸閉塞、虚血性腸炎、大腸憩室炎、急性胆嚢炎、ヘルニア嵌頓、気胸 など

シームレスな診療の提供 ～ 第二川崎幸クリニックとの連携～

外科では、外来施設である第二川崎幸クリニックとの連携を密にし、外来診療・診断から入院治療、そして退院後の療養まで、シームレスな診療を提供しています。

川崎幸病院では入院治療・集学的治療を、第二川崎幸クリニックでは外科外来診療、化学療法外来、日帰り手術はもちろん、がん相談外来、緩和ケア相談外来、がんサロン等の精神的、社会的サポートも行っています。



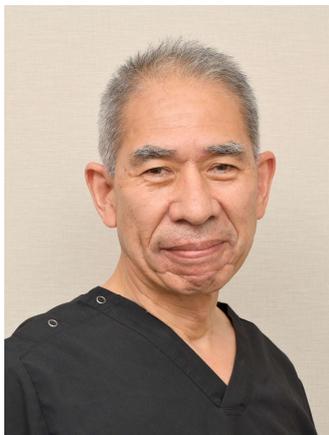
- ・入院治療
- ・がん集学的治療
(手術・放射線治療・化学療法)

シームレスな 診療



- 外科外来/化学療法外来/がん相談外来/
化学療法インテーク外来/緩和ケア相談外来/
漢方外来/リンパ浮腫外来/栄養外来/
がんサロン など

食道外科



川崎幸病院 副院長
 食道外科部長
 がん治療センター長
 臨床研修部長

日月(たちもり) 裕司

■ 専門
 食道外科
 (特に食道がん救済手術)

食道外科では食道がんを主体に、食道裂孔ヘルニア、食道穿孔、食道異物などを治療しています。食道がんの治療では食道癌診療ガイドラインに沿って診断および治療法の選択を行っています。患者さんご家族の選択を尊重し、理解と納得をいただけるまで十分にわかりやすく説明をさせていただきます。外科治療では病態に合わせて胸腔鏡を用いた侵襲の少ない手術を行っています。進行したがんでは、外科治療、放射線治療、化学療法を組み合わせる相乗効果を出す集学的治療が行われます。手術は可能だが手術を受けたくない方や、心臓や肺の状態や年齢などの理由で手術が難しい方などには、化学放射線療法を行うこともあります。手術を選ぶか、化学放射線療法を選ぶか、それぞれの長所・短所を知った上で、慎重に判断していただく必要があります。根治的放射線療法後のサルベージ手術の経験も豊富で、他院からの依頼にも対応可能です。

これらの治療には入院と通院を組み合わせる専門的な治療を継続する必要があります。川崎幸病院食道外科は日本食道学会の食道外科専門医と食道科認定医が常勤し、食道外科専門医準認定施設に指定されています。地域の中で安心して食道がんの治療を続けたいという要望に応えるため、地域医療連携室を介して地域の病院、かかりつけ医の皆様とともに、地域の皆様が自分の住み慣れた地域で、国立がんセンターなどの専門病院と同レベルの質の高い食道がん診療を受けることができる医療体制を提供しています。

大動脈外科のある当院の特徴として、大動脈術後の食道穿孔などの難しい病態に対する他施設からの依頼もあり、大動脈外科とも協力して食道切除再建術などにも対応しています。



食道がん手術 年次推移

サルベージ手術	1
大動脈瘤手術後食道穿孔の食道切除再建	2
食道破裂の食道切除再建	1
食道異物除去	1
食道裂孔ヘルニア	1

2020年 手術内訳

消化管外科



外科部長代行
消化管外科部長

成田 和広

■ 専門
消化器外科(特に大腸肛門外科)
内視鏡外科および消化器内視鏡

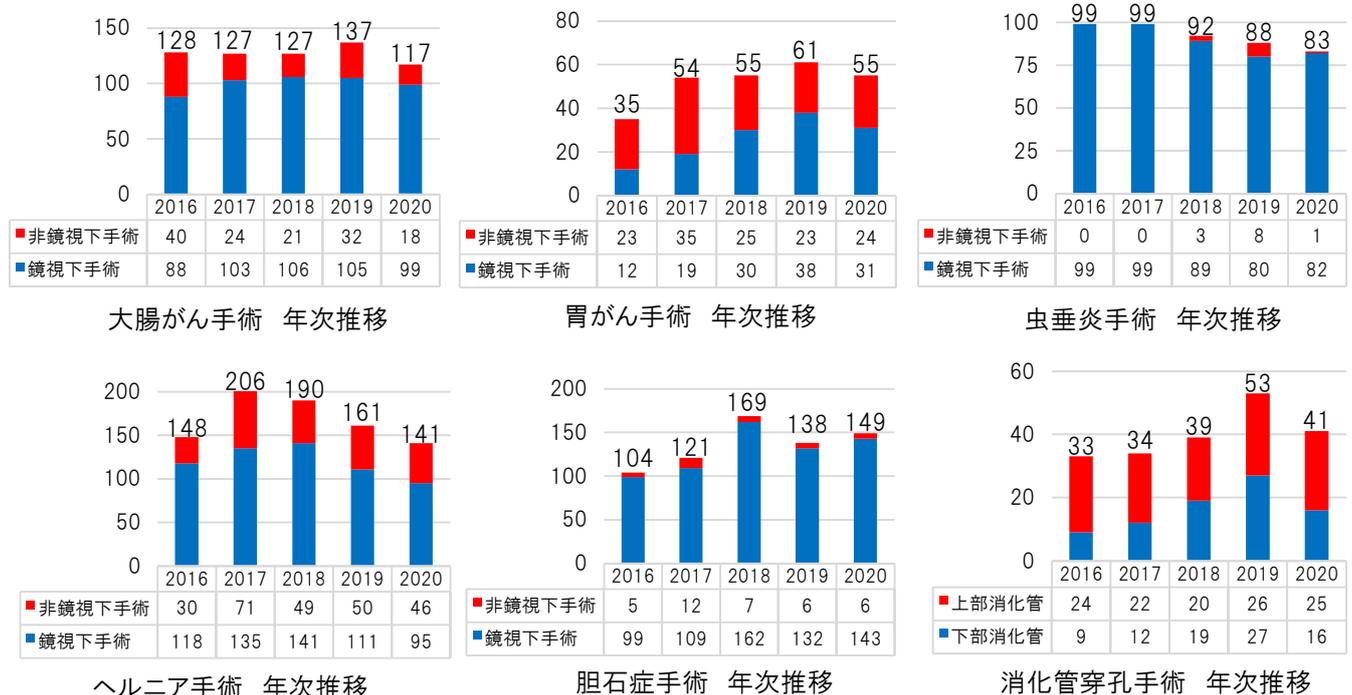
消化管外科は、専門性のある肝胆膵腫瘍や食道疾患を除く、胃から大腸・肛門までの消化管が担当の中心となります。

死因第一位である悪性新生物の中で大腸癌、胃癌は代表的疾患で、第二川崎幸クリニックの消化器総合診、消化器内科と連携を取り、健診も含めた早期発見から早期治療、手術にとスムーズな治療を心がけております。また、放射線治療や外来化学療法など癌の集学的治療を行っており、地域の癌診療の拠点としての役割を担っていきます。

内視鏡外科技術認定医6人を擁し、小さな創から行う低侵襲で整容性の優れた鏡視下手術は得意とするところで、胆石や虫垂炎、鼠経ヘルニアなどの良性疾患はもとより、悪性疾患に対しても積極的に行い、直腸がんの側方郭清や経肛門的鏡視下手術(ISR、TaTME)なども症例に応じて適応を拡大して行っております。そして、緊急手術が全体の約20%を占める中、592件と半数以上を視下手術で行っております。

川崎ではいまだに多い胃十二指腸潰瘍穿孔や大腸穿孔、ヘルニア嵌頓も含めた腸閉塞、虚血性壊死性腸炎など、急性腹症に対して24時間365日対応しております。

肛門疾患についても、内痔核に対する切らないALTA療法を含めて対応しております。



肝胆膵外科

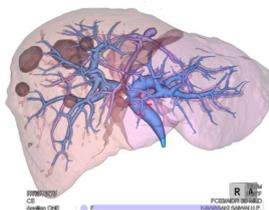


肝胆膵外科部長

原 義明

■ 専門
 消化器外科
 肝胆膵外科
 内視鏡外科

肝胆膵外科では、肝臓、膵臓、胆嚢、胆管、脾臓などの腫瘍、良性疾患を扱っています。肝臓領域では、肝癌、転移性肝腫瘍を始めとする腫瘍性疾患に対して、術前にCT volumetry, 3Dシミュレーションによる詳細な評価を行い、術中ナビゲーションにも用いています。腹腔鏡下肝切除も2018年より導入し、昨年は肝切除のほぼ半数が腹腔鏡下手術でした。膵癌は2019年ガイドラインより術前化学療法が推奨されており以前にも増して集学的治療が重要となっています。消化器内科とも連携して治療にあたっております。膵切除症例では、門脈浸潤例に対する門脈合併切除なども積極的に行い、根治を目指した治療を常に行っています。膵体尾部切除については症例に応じて腹腔鏡下手術も行っております。当院では救急疾患も多く、急性胆嚢炎症例ではガイドラインに沿って早期の腹腔鏡下胆嚢摘出術を積極的に行っております。また肝硬変に伴う門脈圧亢進症に対する腹腔鏡下脾摘、腹腔鏡下Hassab手術なども行っています。肝胆膵領域の手術は高難度手術も多く、また当院ではご高齢の患者様も多いですが、それぞれの患者様に応じた最適かつ安全な手術、治療を常に心がけております。肝胆膵領域の悪性腫瘍は進行が速い場合も多く、手術までの待機日数も極力短くするようにしております。いつでもご連絡、ご紹介いただければ幸いです。



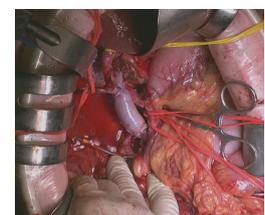
3D-CTシミュレーション画像
 (転移性肝腫瘍)



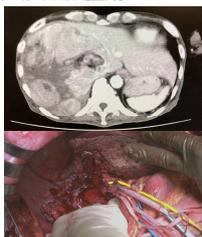
腹腔鏡下肝部分切除
 (転移性肝腫瘍)



腹腔鏡下膵体尾部切除
 (膵体部癌)



外腸骨静脈グラフトを用いた
 門脈再建(膵頭部癌)



巨大肝細胞癌に対する
 拡大右肝切除



膵切除術 年次推移



肝切除術 年次推移

呼吸器外科



呼吸器外科部長

長山 和弘

■ 専門

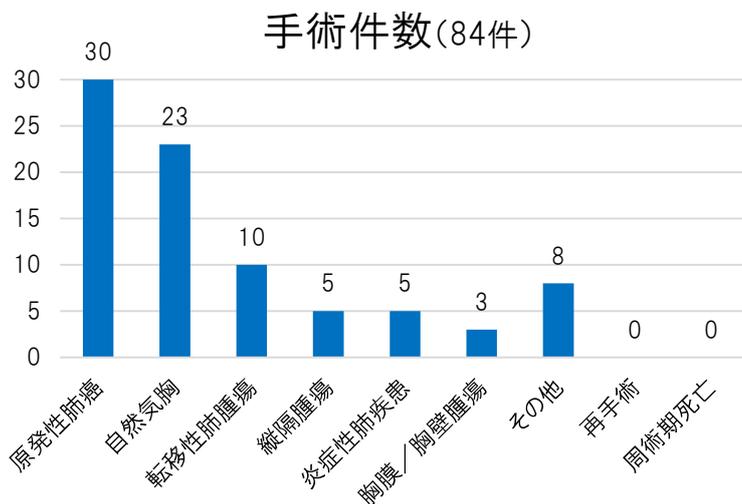
肺がん・縦隔胸壁腫瘍・気胸・漏斗胸
低侵襲手術・拡大手術・肺移植

呼吸器外科では、肺・気管・縦隔・横隔膜の部位における疾患を対象としており、原発性肺癌、転移性肺腫瘍、診断がはっきりしない肺内異常陰影、自然気胸、縦隔腫瘍、感染性肺疾患、膿胸、巨大肺嚢胞症、漏斗胸、胸壁腫瘍などが挙げられます。

肺癌をはじめとする当科の対象疾患では、高齢の患者さんが多く、呼吸器疾患や心疾患、糖尿病等の併存疾患を有する傾向にあるため、術後のQOLを保つために、病状に応じて、小さな創で、肺機能を温存し、根治を目指せる外科治療が求められています。当科で実施している術前気管支鏡下肺マーキング(VAL-MAP法)を用いた精密胸腔鏡下肺縮小手術は、近年増加傾向の小型肺癌や微小転移性肺腫瘍に対して、過不足のない縮小手術(少ない肺切除量で呼吸機能を温存する術式)を行うことが可能です。また、縦隔腫瘍に対する単孔式縦隔腫瘍手術は、術後鎮痛薬の内服を殆ど必要としない、超低侵襲手術です。いずれも国内で実施している施設は限られており、当科の大きな特色といえます。

悪性腫瘍以外でも、若年者の原発性自然気胸、高齢者に多い続発性自然気胸、感染性肺疾患、膿胸に対する外科治療を積極的に行っております。手術適応の有無に関わらず、幅広く対象疾患の患者さんを受け入れており、切除不能進行再発非小細胞肺癌に対する分子標的治療薬や、免疫チェックポイント阻害薬含むレジメンの化学療法を実施しています。

総入院件数		163
予定入院		90
緊急入院		73
緊急入院内訳	原発性肺癌	11
	自然気胸	40
	原発性自然気胸	20(うち手術11)
	続発性自然気胸	20(うち手術7)
	胸部外傷	11
	膿胸	2
その他		8



乳腺外科



乳腺外科副部長

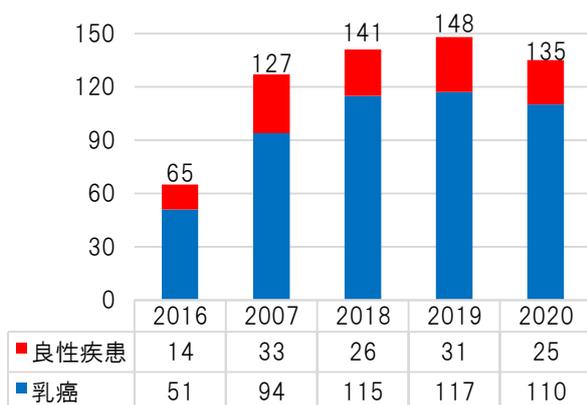
木村 芙英

■ 専門

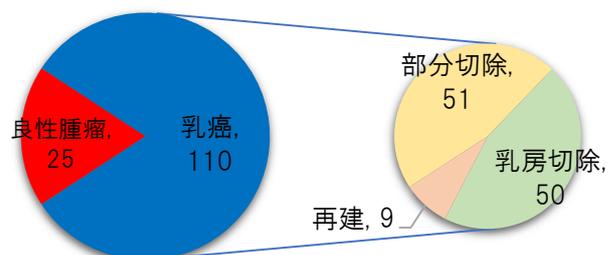
乳癌の検診・診断・治療、
乳房の良性病変に対する治療

いつも多くの患者さんをご紹介いただき有難うございます。私と中村の常勤医師2名と非常勤医師により診療を行ってまいりましたが、本年度より新しく関医師を迎え入れることで、より充実した診療体制を構築することができました。第二川崎幸クリニックの外来診療枠を大幅に増加することで受診までの患者様の待ち時間を少なくし、不安を素早く解決することを目指していきます。また、子育てで忙しい女性やご高齢の女性にも、近隣で通いやすいよう、さいわい鹿島田クリニックの外来枠も増幅しました。

乳腺外科では乳癌を始めとする悪性疾患の検診・診断・治療を中心に、乳腺炎、葉状腫瘍などの良性疾患治療も行います。画像診断は乳癌を発見する上で精度が重要となります。クオリティの高いBモード画像に加えエラストグラフィ画像と血流情報で良悪性の判断をするためにHitachi HI VISION Ascendusを超音波機種として使用しています。またマンモグラフィも本年度よりトモシンセシス(連続断層像)を導入することで精度の向上を目指していきます。また近年話題になっている遺伝診療も近隣大学病院と連携し積極的に取り入れています。乳癌は40代～60代に発症のピークがあります。この年代は社会や家庭において大切な役割を担っております。そのような忙しい方に個々のライフスタイルと各々の乳癌の性質にあった個別化治療を親身になって提案してまいります。2020年度はCOVID-19の影響により乳癌診療も停滞したため、十分な医療を地域に提供できない側面もありました。今年度は感染状況下においても患者様にお役立ていただけるよう努めてまいります。引き続き当院との連携にご協力いただけますと幸いです。今後とも宜しくお願い申し上げます。



乳腺手術件数年次推移



2020年 手術件数内訳

減量外科外来

海外では高度肥満症に対する外科手術が積極的に行われおり、体重減少効果、肥満関連合併症の改善などが多数報告されています。日本では



外科医長 網木 学

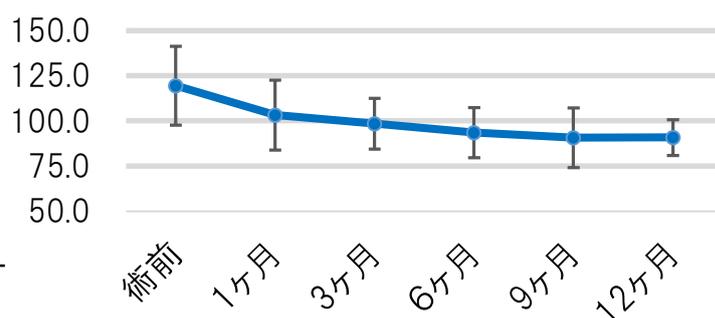
2014年に腹腔鏡下スリーブ状胃切除術が保険収載されましたが、実施可能な施設は限られているのが現状です。当院では2019年より、保険診療による腹腔鏡下スリーブ状胃切除術を導入致しました。平均手術時間は2時間であり、術後在院日数は3日間となっております。現在までに当院で腹腔鏡下スリーブ状胃切除術を受けた患者様は、全て合併症なく経過しております。なお、退院後は多職種での外来フォローを継続し、患者様が長期間に渡って体重減少が維持できるようサポートさせていただきます。



治療に関する疑問点などについてはE-mailでも対応しておりますのでお気軽にご相談ください。
E-mail: genryou@saiwaihp.org

2019年12月～2020年12月	症例 (n=15)
年齢 (歳)	45.2 [26-64]
性別 (F/M)	8/7
体重 (kg)	119.5 [88.4-164.1]
BMI (kg/m ²)	41.0 [35.3-54.3]
肥満関連合併症	
2型糖尿病, n (%)	9 (60%)
高血圧, n (%)	10 (67%)
脂質異常症, n (%)	15 (100%)
睡眠時無呼吸症候群, n (%)	11 (73%)

体重 (kg) [1年間で約40kgの体重減少]



川崎幸病院副院長
救急部部长
呼吸器外科顧問
藤野 昇三

新型コロナ肺炎の第3波による救急外来患者の急増に対し2021年3月1日に救急科が救急部に組織替えされたことにより、同日付で私が救急部部长に任命されました。これに伴う人事で呼吸器外科部部长を長山先生にお願いし、私は顧問というポストで呼吸器部科に関わらせて頂いています。呼吸器外科の手術・入院実績等に関しては長山部部长が書かれたものを見て頂きたいと思いますが、私は週2回の外来と肺癌の化学療法を中心に診療活動を行っています。残念ながら肺癌は現在でも手術対象にはならない患者さんが多く化学療法が治療の大きな選択肢となっています。他領域で使用する抗癌剤も含めて重大な副作用の一つである間質性肺炎に関しては、川崎幸病院・第二川崎幸クリニックが施設認定を受ける際の責任者になっている薬剤も有り、呼吸器学会の指導医を保持していたことが今になって役立ってきています。



第二川崎幸クリニック院長
川崎幸病院外科顧問
関川 浩司

コロナ禍に翻弄されて早一年以上過ぎましたが皆さまにはなにかと落ち着かない日々をお過ごしのこととお察し申し上げます。

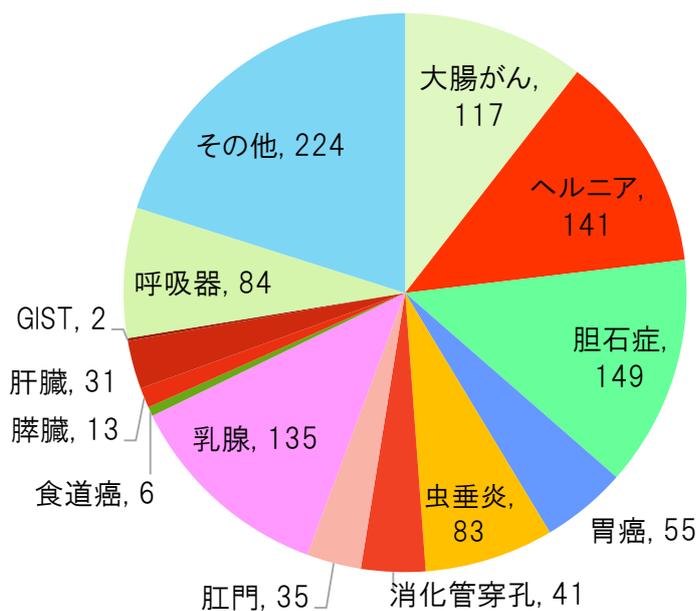
さて当院外科はこのような状況の中、怯むことなく必要とされる医療を提供し続けております。専門性をこれまで以上に高め、皆さまにわかりやすい医療を提供するため本年4月より新たな体制としました。外科の要としての外科主任部長として後藤、また実務的なまとめ役として外科部長代行 成田がその任にあたり、いわゆる大講座制の外科を組織、その中に専門性をより明確にするため各分野に部長を配し、食道外科部長 日月、消化管外科部長 成田、肝胆膵外科部長 原、呼吸器外科部長 長山を配しました。乳腺外科については副部長 木村を中心に女性乳腺外科医師が3人体制で診療を行ってまいります。また内視鏡外科領域では内視鏡外科技術認定医6人を擁し、この分野でのさらなる発展を目指しております。

このコロナ禍を契機に、今後ますます地域医療の機能分担が加速されると思いますが、当院は超急性期疾患に対する医療を今後も継続する所存です。

皆様の変わらぬご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

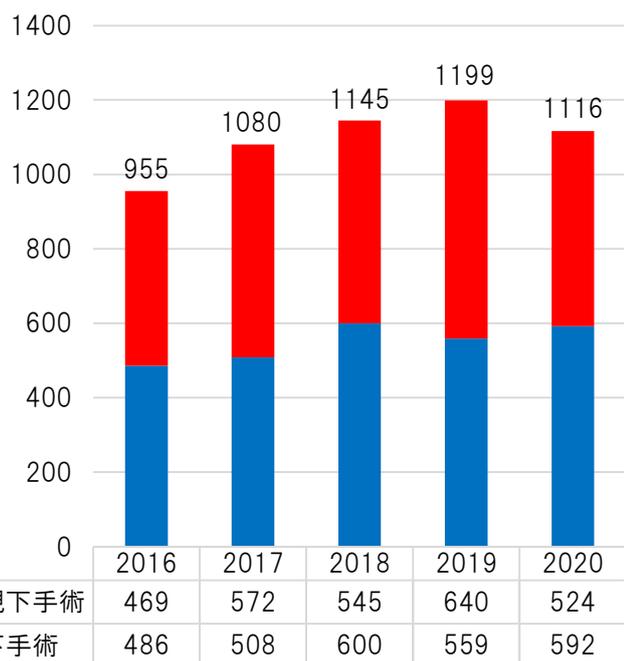
手術実績 (2020年1月～2020年12月)

■ 手術件数内訳(全1,116件)

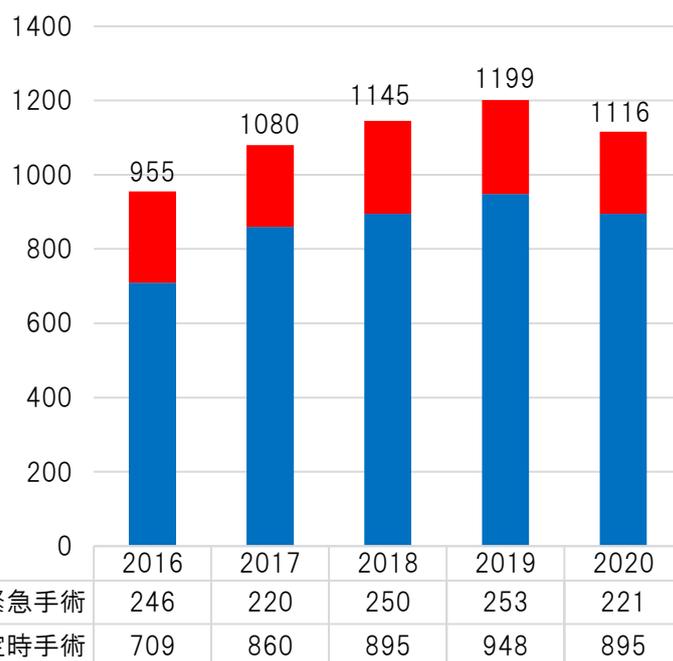


大腸がん	117
ヘルニア	141
胆石症	149
胃癌	55
虫垂炎	83
消化管穿孔	41
肛門	35
乳腺	135
食道癌	6
膵臓	13
肝臓	31
GIST	2
呼吸器	84
その他	224
合計	1,116

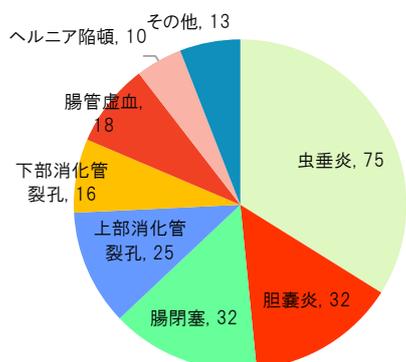
■ 総手術件数と鏡視下手術 年次推移



■ 緊急手術と定時手術 年次推移



■ 緊急手術件数内訳(全221件)



虫垂炎	75
胆嚢炎	32
腸閉塞	32
上部消化管裂孔	25
下部消化管裂孔	16
腸管虚血	18
ヘルニア陥頓	10
その他	13
合計	221

学会発表

発表者	期間	学会名	演題名	開催地
杉山 敦彦	2020.2.7-8	第16回日本消化管学会総会学術集会	上部消化管穿孔に対する腹腔鏡手術の治療成績の検討	兵庫
伊藤 慎吾	2020.2.7-8	第16回日本消化管学会総会学術集会	宿便によりS状結腸切除後の機能的端々吻合部穿孔を認めた1例	兵庫
伊藤 慎吾	2020.8.13-15	第120回日本外科学会総会	Stage IV大腸癌の原発占拠部位別にみた生存期間の解析—大腸癌術後フォローアップ研究会登録症例の検討—	横浜 (Web)
伊藤 慎吾	2020.8.11-13	第106回日本消化器病学会総会	OTSU® Systemで治療した回盲部切除術後縫合不全の1例	広島 (Web)
網木 学	2020.8.27-29	THE KOREAN SOCIETY OF ENDOSCOPIC & LAPAROSCOPIC SURGEONS 2021	MIDSLEEVE™ Used as a Calibration Probe during Laparoscopic Sleeve Gastrectomy	韓国 (Web)
木村 美英	2020.9.19-9.20	第45回日本乳癌甲状腺超音波医学会学術集会	骨・軟骨化生を伴う乳癌の超音波画像	Web
長山 和弘	2020.9.29	第37回日本呼吸器外科学会学術集会	間質性肺炎に対する肺移植待機患者の二次性肺高血圧症合併とその影響	Web
長山 和弘	2020.9.29	第37回日本呼吸器外科学会学術集会	半椎弓切除、Transmanubrial approach (TMA)およびC8頸神経切離により完全切除したC8原発神経鞘腫の1例	Web
長山 和弘	2020.9.29	第37回日本呼吸器外科学会学術集会	白血病に対する化学療法中に発症した侵襲性肺アスペルギルス症に対して、左肺上葉切除を行った1例	Web
伊藤 慎吾	2020.10.8-9	第56回日本腹部救急医学会総会	便秘による高齢者の大腸緊急手術症例の検討	Web
杉山 敦彦	2020.10.8-9	第56回日本腹部救急医学会総会	上部消化管穿孔に対する腹腔鏡手術の治療成績の検討	Web
木村 美英	2020.10.9	第28回日本乳癌学会学術総会	センチネルリンパ節生検における蛍光法の必要性についての検討	Web
中村 幸子	2020.10.13	第28回日本乳癌学会学術総会	当クリニックでHBOCを疑った乳癌症例に関する考察	Web
伊藤 慎吾	2020.10.24	第58回日本癌治療学会学術集会	大腸癌化学療法中のがん関連ディスペプシア症状に対するアコファイドの有効性	京都
長山 和弘	2020.10.29	第73回日本胸部外科学会定期学術集会	Fontan循環の成人肺癌患者に対して左肺上葉切除を行った一例	愛知
中村 幸子	2020.10.29	第82回日本臨床外科学会総会	当クリニックにおけるBRACAnalysis診断システムの取り組みと現状	Web
網木 学	2020.10.29-31	第82回日本臨床外科学会総会	腹腔鏡下スリーブ状胃切除術におけるOptical View法によるFirst Trocar挿入の工夫	Web
伊藤 慎吾	2020.10.29-31	第82回日本臨床外科学会総会	pStagell結腸癌の術後補助化学療法の現状と治療成績	Web
石山 泰寛	2020.10.29-31	第82回日本臨床外科学会総会	脾弯曲部の横行結腸に対する腹腔鏡下手術の手術手技と成績	Web
石山 泰寛	2020.10.29-31	第82回日本臨床外科学会総会	大腸癌術後の縫合不全に対する治療方針の選択によって予後に影響はあるのか?	Web
小串 佑太	2020.10.29-31	第82回日本臨床外科学会総会	大量下血をきたし回盲部切除を施行した回腸放射線腸炎の1例	Web
松山 遼太郎	2020.11.28	第184回日本胸部外科学会 関東甲信越地方会	右横隔膜交通症による右胸水貯留に対する右胸腔鏡下横隔膜縫縮術の一例	東京
成田 和広	2020.12.15-17	第75回日本消化器外科学会総会	当院における大腸癌イレウスに対する治療戦略と成績	Web
石山 泰寛	2020.12.22 2020.12.24	第45回日本外科系連合学会学術集会	合併症軽減のための術式工夫	Web
杉山 敦彦	2020.12.22 2020.12.24	第45回日本外科系連合学会学術集会	小腸軸捻転を誘発した小腸間膜嚢胞状リンパ管腫を待機的に腹腔鏡手術で切除した1例	Web

セミナー・カンファランス

演者	期間	セミナー・カンファランス	演題名
網木 学	2020.2.21	第4回川崎臨床消化器病研究会	肥満に対する外科治療-保険診療による腹腔鏡下スリーブ状胃切除術の導入-
伊藤 慎吾	2020.9.24	川崎がんゲノム医療コンソーシアム講演会2020	消化器癌
伊藤 慎吾	2020.10.7	イーライリー主催 オンライン研究会 消化器がん栄養療法を考える会	
伊藤 慎吾	2020.11.18	イーライリー主催 CRC Web Seminar for Young Surgeon	腹腔鏡下右半結腸切除 手術手技
小根山 正貴	2020.12.4	Gastric Cancer Conference In KAWASAKI	進行胃がん -薬剤を使いきるには-
伊藤 慎吾	2020.12.17	テルモ アドヴァイザリーミーティング	アッドスプレーの使用経験

論文

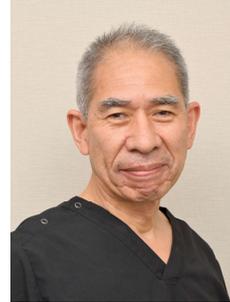
発表者	雑誌名	タイトル
長山 和弘	臨床外科第75巻第11号増刊号	気管・気管支の縫合
長山 和弘	JTCVS Techniques	Lobectomy for lung cancer in a patient with Fontancircuation: A case report
網木 学	Asian jornnal of endoscopic surgery	Laparoscopic transabdominal preperitoneal hernioplasty for recurrent obturafor hernia: A case report.
網木 学	Obesity surgery	Revisional bariatric surgery for insufficientweight loss and gastroesophageal reflux disease:our 12-year experience.
石山 泰寛	Surgical Endoscopy	Propensity-score-matched analysis of short-and long-term outcomes in patients with an ileocolic artery crossing anterior vsposterior to the superior mesenteric vein during curative resection for right-sided colon cancer
伊藤 慎吾	Clinics in Surgery	Prognostic Factors for Stage IV Colorectal Cancer after Primary Tumor Resection :A Single-Institutional Retrospective Analysis



川崎幸病院 副院長
診療部部長
外科主任部長
後藤 学

■ 認定資格等

- 日本外科学会専門医
- 身体障害者指定医
- 厚生省認定 臨床研修指導医



川崎幸病院 副院長
食道外科部長
がん治療センター長
臨床研修部長

日月(たちもり) 裕司

- 専門
食道外科
(特に食道がん手術)

■ 認定資格等

- 医学博士
- 日本外科学会専門医、指導医
- 日本消化器外科学会専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医
- 日本胸部外科学会指導医
- 日本食道学会食道外科専門医・食道科認定医



外科部長代行
消化管外科部長

成田 和広

■ 専門

消化器外科(特に大腸肛門外科)
内視鏡外科および消化器内視鏡

■ 認定資格等

- 医学博士(甲)
- 日本外科学会認定医・専門医・指導医
- 日本消化器外科学会専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医
- 日本大腸肛門病学会専門医・指導医
- 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
- 日本消化器病学会専門医・指導医
- 日本救急医学会専門医
- 日本内視鏡外科学会技術認定医(大腸)
- 日本腹部救急医学会認定医
- 厚生労働省認定 臨床研修指導医
- ICD(認定)
- 身体障害者指定医
- 内痔核治療法研究会四段階注射法講習会修了
- TNTコース修了
- 緩和ケア研修会修了
- 仙骨神経刺激療法講習修了
- 急性期病棟におけるリハビリテーション医師研修会修了
- 日本大腸肛門病学会評議員
- 日本内視鏡外科学会評議員
- 日本外科感染症学会評議員
- 日本臨床外科学会評議員
- 日本腹部救急医学会評議員
- 大腸癌研究会施設代表者
- 大腸ス TENT安全手技研究会世話人
- 神奈川ストーマ研究会世話人
- 川崎市外科医会常任幹事



肝胆膵外科部長

原 義明

■ 専門

消化器外科
肝胆膵外科
内視鏡外科

■ 認定資格等

- 日本外科学会認定医・専門医・指導医
- 日本消化器外科学会専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医
- 日本肝臓学会肝臓専門医
- 日本内視鏡外科学会技術認定医(胆道)・評議員
- 日本肝胆膵外科学会評議員
- 日本腹部救急医学会腹部救急認定医・教育医・評議員
- 厚生労働省認定臨床研修指導医
- 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- 日本移植学会移植認定医
- 日本胆道学会指導医
- 医学博士



外科医長
網木 学

■ 専門
肥満減量外科

■ 認定資格等

- ・ 麻酔科標榜医
- ・ 日本外科学会専門医・指導医
- ・ 日本内視鏡外科学会技術認定医(ヘルニア)
- ・ 日本消化器外科学会専門医・指導医
- ・ 検診マンモグラフィ読影認定医
- ・ 日本内視鏡外科学会評議員
- ・ 日本ヘルニア学会評議員



外科医長
小根山 正貴

■ 専門
消化器外科(食道・胃・胆嚢・大腸・ヘルニア)
内視鏡外科

■ 認定資格等

- ・ 医学博士(甲)
- ・ 日本内視鏡外科学会技術認定医(ヘルニア)
- ・ 日本外科学会専門医
- ・ 日本消化器外科学会専門医・消化器がん外科治療認定医
- ・ 日本消化器病学会専門医
- ・ 日本消化管学会胃腸科認定医・専門医・指導医
- ・ 内痔核治療法研究会四段階注射法講習会修了
- ・ 日本がん治療認定機構がん治療認定医
- ・ 日本食道学会食道科認定医
- ・ 身体障害者指定医
- ・ 厚生労働省認定臨床研修指導医
- ・ 難病指定医
- ・ 神奈川ヘルニア研究会世話人
- ・ 神奈川胃癌研究会世話人
- ・ 緩和ケア研修会修了



外科医長
伊藤 慎吾

■ 専門
消化器外科全般

■ 認定資格等

- ・ 日本外科学会専門医
- ・ 日本消化器外科学会専門医・消化器がん外科治療認定医
- ・ 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- ・ 日本消化器病学会専門医
- ・ 日本内視鏡外科学会技術認定医(大腸)
- ・ 日本腹部救急医学会腹部救急認定医・評議員
- ・ 検診マンモグラフィ読影認定医
- ・ 厚生労働省認定臨床研修指導医
- ・ 難病指定医
- ・ 内痔核治療法研究会四段階注射法講習会修了
- ・ 緩和ケア研修会修了
- ・ 医学博士



外科医長
石山 泰寛

■ 専門
消化器外科(大腸)

■ 認定資格等

- ・ 日本外科学会専門医
- ・ 日本消化器外科学会専門医・指導医
- ・ 日本消化器病学会専門医
- ・ 日本内視鏡外科学会技術認定医(大腸)・評議員
- ・ 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- ・ 日本腹部救急医学会評議員



シニアレジデント
富澤 悠貴

■ 認定資格等

- ・ AHA ACLS Provider



シニアレジデント
望月 一太郎



シニアレジデント
原田 龍之助

呼吸器外科



呼吸器外科部長
長山 和弘

■ 専門
肺がん・縦隔胸壁腫瘍・気胸・漏斗胸
低侵襲手術・拡大手術・肺移植

■ 認定資格等

- 日本外科学会専門医
- 日本呼吸器外科学会専門医
- 日本移植学会認定医



川崎幸病院 副院長
救急部部长
呼吸器外科顧問
藤野 昇三

■ 専門
肺がん・縦隔胸壁腫瘍・気胸
漏斗胸・呼吸器領域の内視鏡手術

■ 認定資格等

- 日本外科学会指導医
- 日本胸部外科学会指導医
- 日本呼吸器外科学会終身指導医・専門医
- 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医
- 日本呼吸器学会指導医

乳腺外科



乳腺外科副部長
木村 芙英

■ 専門
乳癌の検診・診断・治療、
乳房の良性病変に対する治療

■ 認定資格等

- 日本外科学会専門医
- 日本乳癌学会専門医・指導医
- 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- マンモグラフィー読影As認定医
- 「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」に基づく研修修了
- 医学博士
- 東京医科大学病院乳腺科兼任講師
- 日本超音波医学会 超音波専門医



乳腺外科医長
中村 幸子

■ 専門
乳癌の検診・診断・治療、
乳房の良性病変に対する治療

■ 認定資格等

- 日本外科学会専門医
- 日本乳癌学会専門医
- マンモグラフィー読影A認定医
- 「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」に基づく研修修了
- 医学博士



乳腺外科
関 晶南

■ 専門
乳癌の検診・診断・治療、
乳房の良性病変に対する治療

■ 認定資格等

- 日本外科学会専門医
- 日本乳癌学会認定医
- 乳腺超音波読影認定医
- 「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」に基づく研修終了

患者さんのご紹介

川崎幸病院は外来分離をしており、救急外来のみを行っている急性期病院です。
緊急性のある患者さんは川崎幸病院にご紹介ください。

専門外来は第二川崎幸クリニックで行っております。
予約制となっておりますので、予約専用番号へご連絡ください。

緊急性のある患者さんのご紹介

川崎幸病院救急外来で対応致します。

☎ : 044-544-4638

(地域医療連携室直通)

※ 直通電話は17時以降は受付に転送されます。



川崎市幸区大宮町31-27
TEL: 044-544-4611(代表)

専門外来へのご紹介

第二川崎幸クリニック

☎ : 044-511-2112

(予約専用番号)

土日祝日でも予約可能です。患者さんから直接お電話いただいても構いません。
予約方法につきましては、QRコードよりご確認ください。



川崎市幸区都町39-1
TEL: 044-511-1322(代表)

予約方法について



無料シャトルバスのご案内

川崎駅西口より、第二川崎幸クリニック行の無料シャトルバスを運行しております。
時刻表につきましては、QRコードよりご確認ください。
※川崎幸病院を経由する大型バスは運休しております。



シャトルバスのご案内

